

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公開番号】特開2009-190314(P2009-190314A)

【公開日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2009-034

【出願番号】特願2008-34660(P2008-34660)

【国際特許分類】

B 41 J 2/17 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 102

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月15日(2010.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを収容するインクタンクであつて、
該インクタンクの内部を大気に連通させるための大気連通孔と、
前記インクタンクの外部において、前記大気連通孔に連結し溝状に延在して形成された
大気連通路と、
前記大気連通孔および前記大気連通路が形成された前記インクタンクの外部に、前記大
気連通路の末端を残して前記インクタンクに貼り付けられるシート部材と
を備え、
前記大気連通路は、前記大気連通孔に連結して延在する第1の大気連通路と、該第1の大
気連通路より分岐して再び前記第1の大気連通路に合流する前記第1の大気連通路よりも
大きな毛細管力を有する第2の大気連通路を有することを特徴とするインクタンク。

【請求項2】

前記大気連通路は、複数の前記第2の大気連通路を有することを特徴とする請求項1に
記載のインクタンク。

【請求項3】

前記大気連通路は、前記第1の大気連通路と、複数の前記第2の大気連通路とを連結す
る、前記第1の大気連通路よりも大きくかつ前記第2の大気連通路よりも小さな毛細管力
を有する第3の大気連通路を更に有することを特徴とする請求項1に記載のインクタンク
。

【請求項4】

前記大気連通路は、互いに交差する複数の前記第2の大気連通路を有することを特徴と
する請求項1に記載のインクタンク。

【請求項5】

前記第2の大気連通路は前記第1の大気連通路の屈曲部の前後で前記第1の大気連通路
と分岐および合流するように備えられていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに
記載のインクタンク。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれかに記載のインクタンクと、インクを吐出するための記録ヘッ
ドが、一体的に構成されたインクジェットカートリッジ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

そのために本発明においては、インクを収容するインクタンクであって、該インクタンクの内部を大気に連通させるための大気連通孔と、前記インクタンクの外部において、前記大気連通孔に連結し溝状に延在して形成された大気連通路と、前記大気連通孔および前記大気連通路が形成された前記インクタンクの外部に、前記大気連通路の末端を残して前記インクタンクに貼り付けられるシート部材とを備え、前記大気連通路は、前記大気連通孔に連結して延在する第1の大気連通路と、該第1の大気連通路より分岐して再び前記第1の大気連通路に合流する前記第1の大気連通路よりも大きな毛細管力を有する第2の大気連通路を有することを特徴とする。